

ORANGE NEWS

Total 165
Vol. 001 2023 SPRING



ものづくりINTERVIEW

MEX金沢2023で伝えたい
工作機械の未来、
TAKAMAZのビジョン。

WORK&SOUL

神山鉄工株式会社様

information

MEX金沢 2023 出展
2023年度入社式／社内さんぽ

北陸ものづくりの旅

金沢の港と醤油の町をそぞろ歩く、
至福の時間。



表紙photo／
金沢港クルーズターミナル
海の玄関口として新しくできた
「金沢港クルーズターミナル」。
日本海の白波をモチーフとした屋
根が印象的な展望デッキで撮影。

TAKAMAZ

高松機械工業広報誌 2023年春号

MEX金沢2023で伝えたい 工作機械の未来、 TAKAMAZのビジョン。



2023年5月18～20日に開催されるMEX金沢2023。そのプランニングを担う2人のインタビューを通じて、TAKAMAZの展示の見どころをお伝えします。

ています。様々な人にTAKAMAZを知ってもらおうこと、地元の学生や子どもたちに機械と向き合う楽しさを体感してもらうことも目的の一つとなります。特にコロナ禍での自粛も明けて、久しぶりにマスクを外してコミュニケーションができることも楽しみにしています。ブースの一部にプレゼンコーナーを設けて、技術者がトークを繰り広げる時間が何度かあったり、子どもたちがロボットを操作できる実演コーナーを設置するなどのアイデアも出ています。

MEX金沢へは家族連れのお客様も多く、商談会一色の展示会ではありません。製造業で働くお父さん、お母さんが子供を連れて来る、地元の方々気軽に楽しめるイベントです。一方で、最新の工作機械のトレンドや未来を読み解く場として、意見交換していただく良い機会でもあります。

国内営業部 部長
山崎 由清
Yoshikiyo Yamazaki

山崎 (国内営業部 部長)

自動車産業は100年に1度の大きな変革期。弊社も生き残りをかけて、どのように環境へ対応し、何を発信していくのか、しっかりと舵を取る必要があります。カーボンニュートラルやSDGsに対応した商品開発、自動車産業以外での自動化への取り組みなど、未来を見据えたきっかけづくりに、このMEX金沢2023でチャレンジしたいと思います。

山野 (技術部 部長)

技術部としての新製品発表の場は、春と秋の年2回あります。そのうち、地元で開催されるMEX金沢は、業界関係者だけでなく、地域に広くPRする場と捉え

山崎

MEX金沢2023におけるTAKAMAZの展示コンセプトは、「カーボンニュートラル」「自動化」「デジタルトランスフォーメーション(DX)」となります。

山野

今回、メインで展示するXTS-6とXWG-3の2機種は、まさに弊社を象徴するもので、サイズも小さく、省エネやSDGs、カーボンニュートラルといったテーマに特にえられる製品です。人材不足という課題を抱える企業も増え、自動化による省人化・省力化で貢献できるTAKAMAZもアピールしていきたいですね。

山崎

EVシフトの波は、自動車業界に身を置くものにとっても想像を遥かに超えるスピードで変化をもたらしています。内燃機関に比べて部品点数が少ないモータという構造物に対しては、ますます競争が激化すると予想されます。その中でどのような新しい価値を創出して市場に挑めるかが弊社の課題となります。

山野

ただ、EV化でエンジンは確かに少なくなるかもしれませんが、クルマがなくなるわけではありません。ミッションやブ

レーキといった駆動系や足まわり、また、制御や電気系については、むしろ弊社が取り組むべきマーケットがチェンジしているのは事実です。

山崎

ドイツの工作機械メーカーとコラボした製品を展示するのもその流れの一つで、注目度の高さを感じています。たとえば、工程分割と工程集約。ニーズの多様化に伴う多品種少量生産の増加は、ヨーロッパ型の工程集約の方向へと向かっています。当然、工作機械の役割や特性もそれに対応した変化が求められるわけです。

EVシフト。それは自動車産業にかかわる企業や人にとって、極めて大きな変化です。その変化にいかに対応していくのか、その変化の向かう先に何があるのか、最新の注意を払って捉える必要があります。

山崎

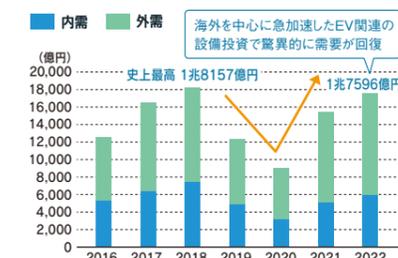
コロナ禍以降で労働人口が2割減ったと言われています。カーボンニュートラルで残業を減らすといったことも人手不足の一因となっています。技能・技術者の数が減っているという現実が、自動化や工程集約へのニーズを生んでいます。

山野

そうですね。いまのニーズのトレンドは「加工」ではなく「制御」の方へ向いています。お客様から「1個の製品をつくる際にかかるエネルギーはどれくらいか」という具体的なご質問を受けるようになり驚いています。今回の展示会でお見せる製品は、クルマで例えるなら、アイドリングストップやエコモードがついたところなんです。実機を見ながら、こうした特徴についてもじっくりとお話できると思います。

弊社が本社を置く北陸はモノづくりの盛んな地域でもありますが、実は意外にユーザ企業は多いとは言えません。むしろ心理的には距離感を感じることもあったりします。だからこそ、MEX金沢を良い機会と捉え、北陸企業の方々と活発なコミュニケーションをしていきたいと思っています。

【工作機械の受注総額の推移】(日本工作機械工業会)



Yoshikiyo Yamazaki



Makoto Yamano



vol.001

— 神山鉄工株式会社様 —

Let's try it.

「やってみやあ」のスピリッツが高精度の締結部品を作りだす。
熟練の「人」の力が集まるからこそ、あかるい未来が創造できる。



これは単なるネジやピンでは決してない。試して、作って、分解して、また作って。
熟練工が試行錯誤を繰り返すことから、神山鉄工株式会社の高精度な締結部品は生まれる。

KAMIYAMA TEKKO CORPORATION



【神山鉄工株式会社】
愛知県名古屋港区入場1-1506
TEL.052-382-7218 FAX.052-383-3170
代表取締役社長 / 神山 道宏
資本金 / 10,000,000円
創業 / 1971年
事業内容 / ヘッダー加工・リヘッダーによる冷間圧造加工・
切削加工・転造加工

1971年に創業された神山鉄工株式会社は、大手自動車メーカーの図面品を中心に、パソコン、電子機器、工作機械、建築系機械などの分野で高精度を求められるピン、リベット、シャフト、ボルトなどの締結部品を製造するモノづくり企業です。

冷間圧造と切削加工の専門家集団として、取引先から依頼を受けた図面を基に、一点一葉の極めて精密な部品づくりを担っています。自社一貫製造による高い品質、短期納品対応、コスト削減などを通して、取引先から厚い信頼を得ている背景には、熟練の「人」の力を大切にす社長の想いと、「やってみやあ」を合言葉とする魅力的なスピリッツがありました。

大切なのは、熟練の「人」の力。

「わたしたちのような製造業は、一人

ではなにもできない。昨日今日入った人が、満足な仕事をできるわけがない」と語る神山社長。一見当たり前にも聞こえる言葉だが、高精度の締結部品を作り続ける専門家集団を率いるトップの言葉だけに、強い説得力を持ちます。熟練の社員の方々への信頼も厚く、皆で試行錯誤しながら技術を高めようとする精神に、とても魅力を感じます。

試して、作って、分解して、また作る。

神山鉄工株式会社の核をなす重要なフィロソフィーは、「やってみやあ」という名古屋弁となって社内を飛び交います。やってみないとわからない、そんな想いが、「試して、作って、分解して、また作る」という行動の原点にあるようです。トライ&エラーを恐れず繰り返した果実は、自身の実力の範疇を超える仕事をもたら

し、社内にデータとノウハウを蓄積させ、人と会社を成長させていくのです。

「切削の分野においては、歴史と規模を有する会社には勝てない。比較して、わたしたちは経験の量が十分ではない。」と捉えるからこそ、「やってみやあ」が神山鉄工株式会社にとっての金言となるのです。

時にそれは社員にとってムチャぶりに過ぎると感じることもあるようですが、様々なことに自由にチャレンジできるやりがいや楽しさを、企業文化として醸成しているのも間違いのない事実です。「やってみやあ」の精神は、複合機の分野を開拓し、精度も含めた、さらに高度な技術を手にする未来への原動力となっています。

ミッションは「つなぐ」こと。

ネジやピン、リベットといった自動車の締結部品の製造を主力事業とする会社

にとって、昨今のEV化の流れは看過できないものだと想像します。しかし、政治的な思惑も含んで予測しづらいEV化の動きに囚われすぎないことも重要だと神山社長は考えます。自分たちのミッションは「つなぐ」こと。つまり、「締結部品のネジやピンを作ること。設計者の思考や営業の想いに技術の技と経験をつないで、一つのモノを形にしていくこと。」が仕事なのです。専務という役割を任された頃から、その考えは蓄積され、EV化が進む未来であってもつなぐ仕事は必ずある、と神山社長は結論付けます。技術者集団が読み解く未来は、やはり技術の上にはしっかりと成り立っていました。

TAKAMAZへの評価を尋ねると、「一番は機械が小さく、省スペースでの稼働が利くこと。」と返答をいただきました。

さらに、「X-100の頃からお世話になっ

ていますが、操作は機種が新しくなってもほぼ変わらない。新しい機種を導入しても、戸惑うことなく作業ができるのは大きなメリット。」「小回りの良さ、クイックレスポンスを含めて、故障への対応の素早さも評価するポイント。」と、TAKAMAZの機械を長く使い続けていただいているからこそその答えに、取材しながらも思わず笑みがこぼれます。

日々、真摯に機械と向き合い、機械のことをとてもよく理解されている方々との会話はとても有意義であり、楽しい時間となりました。現場で作業される技術者の方々との、こうした自由闊達なやりとりが、機械の仕様を決め、その会社独自の製品にカスタマイズされていく、それがTAKAMAZらしさとも言えます。「ときめく外観」を持った機械を、という新たなご要望も受け止めて、この先もますます深くつながっていききたいとの思いを抱いた訪問となりました。



HP



事前登録必須

第59回 機械工業見本市

MEX
金沢2023

MACHINERY & ELECTRONICS
EXHIBITION in KANAZAWA

5.18(木) - 20(土) am10:00-pm5:00 MEX 金沢会場、ご入場には事前登録が必要です。

石川県産業展示館 [3号館・4号館]

石川県金沢市袋島町南193 TEL(076)268-1121
主催/一般社団法人 石川県鉄工機電協会
https://tekkokiden.jp/mex



※写真はイメージです。

3号館
入ってすぐ

入場
無料

TAKAMAZブース 出展のご案内



CNC2スピンドル
2スライド
精密旋盤
XWG-3

NEW 省エネ

高生産性で高い評価を
いただいている
【XW-30PLUS】が、
カーボンニュートラルの
要望を受け、モデルチェンジしました。

チャックサイズ	コレット、4 inch
主軸回転速度	Max.8,000 min ⁻¹
主軸モータ	AC 5.5/3.7 kW
ローダ本体	Z:85 Y:85 m/min
早送り速度	(※Z:170 Y:170 m/min) (※)高速ローダ仕様

- 視認性に優れた19インチタッチパネルを採用し、操作性を大幅に向上。
- 従来のローダ制御基板、アンプ、バッテリーなどを本体NC制御と共通化することで、保守部品を削減。
- 従来機と比較してスライド早送り速度(X/Z軸)+33%のスピードアップを実現、ローディングタイムはクラス最速1.94秒を実現。



CNC1スピンドル
1タレット
精密旋盤

XTs-6

NEW 省エネ

多様化するニーズに応え、
さらにコンパクト化、
高生産性に磨きをかけます。

チャックサイズ	6 inch
主軸回転速度	Max.5,000 min ⁻¹
主軸モータ	AC 7.5/5.5 kW
ローダ本体	Z:120 Y:120 m/min
早送り速度	

- 従来機と同等のフロアスペースを維持しながら、スライド動作の高速化(X軸+50%、Z軸+33%)を実現。
- 機械本体とローダ駆動に電源回生方式を採用、消費電力削減を実現し、省エネに貢献。
- 自ら学習し機外速度を自動変更する【フロダ速度最適化機能】を搭載。省エネ・長寿命化に貢献。



Universal Robotを接続し、
省スペースと省エネの
自動化システムを提案します。



Servo ROT-00
「稼くロボットシステム」で
お悩み解消いたします!

標準機出展
実演加工



CNC1スピンドル
1タレット精密旋盤
XT-8MY

ホブ加工
旋削+ホブ加工で工程集約を実現



mectron
株式会社メクトロン
マルチセル構形
マシニングセンタ
MCH-381T

マルチセルは未来志向の
新しい概念の工作機械

MECTRON機にFANUC CRXのロボットを
接続。他社の自動化システムの検討も
TAKAMAZにお任せ!



HIGH SPEED
資源ゴミAI自動選別システム
TAKAMAZ自動化技術とPFUの光学技術が融合。
新世代のリサイクルシステムを提案します。



EMAG
EMAG(ドイツ)
立形シャフト加工旋盤
VT 2-4

シャフトワークの
量産に適した
高出力マシン



ECOCA
ECOCA(台湾)
汎用旋盤
SJ460X1000G

コストパフォーマンスに優れ、
幅広いサイズに対応!
即納可能

TOPIC1 組織の改編



当社の主力事業である工作機械事業をより一層強力に推進することを目的として、営業本部及び生産本部を廃止し、営業部門及び生産部門を工作機械事業本部直轄の組織といたします。これにより、工作機械事業における生販の連携を強化して意思決定・実行スピードを高め、更なる企業価値向上をはかります。



- 関東支店 支店長 岡部光晴
- 東北営業所 所長 菅谷均
- 厚木営業所 **[新]** 所長 井筒清徳
- 北信越営業所 所長 徳野伸一
- 名古屋支店 支店長 青地唯晃
- 浜松営業所 **[新]** 所長 義本祐一
- 大阪支店 **[新]** 支店長 池端隆幸
- 広島営業所 所長 清水政利
- 海外営業部 海外支援課 **[新]** 課長 相神智久
- TMU **[新]** 副社長 吉村和也
- TMT 副社長 山下英二
- TME 副社長 本田暁暢
- 喜志高松 専務兼 室長 木ノ内雅文
- PT.TI **[新]** 副社長 小松隆弘
- TMVN **[新]** 副社長 中川準
- TMMX **[新]** 副社長 谷内辰郎

TOPIC2

2023年度入社式の開催

4月3日、本社にて2023年度入社式を行いました。新たに加わった9人の社員とともに、さらなる成長を目指します。入社式では、会長と社長より温かい言葉が新入社員に送られ、多少の緊張感を漂わせながらも和やかな雰囲気での閉式となりました。

「TAKAMAZのルールに則って仕事に励み、経験を積み重ね、人生の財産にしてください。チーム一丸となって目標を達成していきましょう。」... (会長式辞より)
「TAKAMAZを選んでくれたことに感謝しています。皆さんの成長の伸び代が、会社の成長の伸び代です。TAKAMAZは創業75周年。弊社が100周年を迎えたときは、皆さんが主役となって活躍していることを期待します。」... (社長式辞より)



- 好きなコト、モノ 教えてください
- サッカー観戦が熱い
- サウナで汗を流したい
- 銭湯のサウナが好き
- 「キヨ。」にハマっている
- 珈琲は豆から挽く
- 野球が好き
- グルメ旅がしたい
- 趣味は吹奏楽
- 趣味はスキー

社内さんぽ / 名古屋支店 サービス係 木下 裕貴

入社5年。客先へ伺い、機械の修理・メンテナンスを行うのが主な仕事。東海3県を基本的な活動拠点にしながら、北海道や九州にも足を運ぶ。

- お客様の要望、日々の細かいToDoリスト、下調べのメモなど、彼のスマホには仕事に関する様々な記録が詰まっている。
- 事務所の仲間と意見交換や情報共有をする事務所は、彼にとっての和みの場。ビル群に囲まれながらも、事務所ビルのある一角は閑静な雰囲気が漂う。
- あらゆる状況に対応できる工具を揃えることは、彼の仕事の大切な一部を成す。工具のプロショップへ自ら出向き、品定めをするのも楽しい時間。



北陸ものづくりの旅

— CRAFT CONSCIOUS —

金沢の港と醤油の町をそぞろ歩く、至福の時間。

金沢港クルーズターミナルのすぐ近くに、銚子などと並ぶ醤油の産地「大野」があります。

約400年の歴史を有し、今も何軒もの蔵元が醤油を醸造しています。

板壁と黒瓦が映えるレトロな町に、ほのかに漂う醤油の香り。

いつもと違う金沢が、ココにあります。



ギャラリー & 茶論 もろみ蔵

明治25年に創業した紺市醤油が営むギャラリー&カフェ。醤油蔵を改装したノスタルジックな空間で、濃厚でまろやかな味わいの醤油ソフトクリームを味わう時間は格別です。



運河に寄り添うレトロな町並み

廻船業や醤油製造業にまつわる町家や醤油蔵、農業や漁業のための芋蔵・網納屋が軒を連ねる大野の町並みは、金沢市の「文化的景観区域」に指定され、日本遺産にも認定されています。



醤油の五大産地の一つに数えられる大野。醤油は産地によって味わいが異なり、大野の醤油は淡麗甘口で「大野うま〜ち醤油」とも呼ばれ、豊かなコクとまろやかさが特徴です。今も昔も、加賀料理に欠かせない味が、大野の醤油です。
運河に架かる橋を渡って、醤油蔵がちりばめられた大野の町へ潜り込

めば、醤油樽と煙突が出迎え、ヤマト醤油味噌の本社製造工場「鞆パーク」や風格ある店構えの「宝生寿司」、文政8年創業「直源醤油」の白い土蔵など、レトロな町並みを堪能できます。もちろん欠かせないのは、大野散策の定番スイーツである「もろみ蔵」の醤油ソフト。最近は素敵なカフェも続々増えて、ますます魅力的な町へと進化している大野です。

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

詳しい情報はこちらから ▶
<https://www.takamaz.co.jp>



本社・工場	〒924-8558 石川県白山市旭丘1-8 サービス受付専用ダイヤルイン 部品受付専用ダイヤルイン	TEL(076)207-6155 FAX(076)274-1418 TEL(076)274-1400 FAX(076)274-1454 TEL(076)274-1407 FAX(076)274-1454 TEL(076)274-0123 FAX(076)274-8530
あさひ工場	〒924-0004 石川県白山市旭丘4-13	TEL(076)274-1443 FAX(076)274-3170
第2工場	〒924-0004 石川県白山市旭丘2-18	TEL(076)274-1448 FAX(076)274-1446
第3工場	〒924-0004 石川県白山市旭丘2-18	TEL(076)274-2515 FAX(076)274-2516
第4工場	〒924-0004 石川県白山市旭丘1-7	TEL(076)274-1442 FAX(076)274-1345
開発センター	〒924-0838 石川県白山市八束穂3-3	TEL(048)521-8771 FAX(048)520-2189
関東支店	〒360-0042 埼玉県熊谷市本町2丁目48番地(熊谷第一生命ビル1F)	TEL(06)6395-3252 FAX(06)6398-2430
大阪支店	〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-5-28(新大阪テラスキ第3ビル2F)	TEL(052)332-6801 FAX(052)332-6303
名古屋支店	〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋2-1-12(橋AKビル2F)	TEL(053)456-2530 FAX(053)456-2531
浜松営業所	〒430-0929 静岡県浜松市中区中央3-15-1(EKビル6-D)	TEL(046)240-9820 FAX(046)240-9424
厚木営業所	〒243-0018 神奈川県厚木市中町3丁目9番地15号(厚木JCビル101号室)	TEL(022)784-1882 FAX(022)784-1883
東北営業所	〒981-1217 宮城県名取市美田園5丁目4-1(アルモニーバル101号室)	TEL(076)274-1405 FAX(076)274-8530
北信越営業所(北陸)	〒924-0004 石川県白山市旭丘4-13	TEL(0256)36-5560 FAX(0256)36-5567
北信越営業所(信越)	〒955-0092 新潟県三条市須頃2丁目13番地(パークハイツ須頃1階102号室)	TEL(082)568-7885 FAX(082)568-7886
広島営業所	〒732-0827 広島県広島市南区福荷町1番1号(ロイヤルタワー8F)	
海外拠点	アメリカ(シカゴ) ドイツ(ヒルデン) 中国(杭州) タイ(バンコク) インドネシア(タンブン プカシ) メキシコ(レオン) ベトナム(ホーチミン)	

※このニュースに対するご要望・お問い合わせは編集委員会まで TEL(076)274-1408 FAX(076)274-8530

広報誌リニューアルに関するお知らせ

T-news は、
ORANGE NEWS
に生まれ変わりました。

日頃より高松機械工業株式会社の広報誌を
ご覧いただき誠にありがとうございます。
この度、弊社広報誌を全面リニューアルいたしました。

弊社のイメージを投影した色に由来する名前とし、
より親しみやすく、もっと皆様の興味・関心に
応える内容を掲載していきたいと考えております。

どうぞこれまで以上に皆様に有益な情報
をお伝えできるように努めて参りますので、
今後ともよろしくお願い申し上げます。

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社